

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月24日			
平成15年度	事業コード	31120	電話	042-769-8237
担当部課名	経済部	産業振興	課	工業振興 班
事務事業名	青少年創造意欲啓発事業			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	立地特性を生かした産業の振興をめざします。	事業開始年度
基本施策名	第1節	活力ある産業の振興	13 年度
施策名	第2施策	新たな成長産業の創造	

2 実施根拠及び関連法令等

--

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

その他の経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

あり

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
大学等の教員や民間企業の経営者等を講師に迎え、「なんでも体験教室」を開催し市内の小学生を主とした青少年に創意工夫への意識を高揚させることを目的とする。	市内小学生(高学年)
	対象数 約17,000人
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
1. 「なんでも体験・子どもワクワク教室」の実施 実施日 1回目 平成14年7月27日(土) 2回目 平成14年8月24日(土) 会場 県立相模原工業技術高校 講師 県立相模原工業技術高校教諭 5名 内容 シューターロボットの製作と操作 参加者 市内小学校4～6年生 1回目 16名 2回目 14名 2. 「なんでも体験教室 ホットエアエンジンづくり」 実施日 平成14年11月19日(土)	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～ 年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
活動指標	参加者増減率	本年度参加者数÷前年度参加者数*100 H13:10名 H14:延べ40名	参加者増減率から創意工夫に青少年の創意工夫に対する二ーズをみる			400	110	110

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位:千円〕

事業費	決算(予算)額	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
	人員・時間数		2人・30時間	2人・100時間	2人・100時間	
	人件費		250	832	832	
	その他経費			0		
	合計	0	450	939	929	0
	特定財源					
	対象数					
	対象の単位あたり経費	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A : 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B : 一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C : 達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	今年度は実施回数も増やすことができ、参加者の大幅な増加につながった。
(2)必要性 評価 A ▼	A : 適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B : 一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C : 適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 毎回定員又はそれを上回る応募があり、対象者のニーズの高さが伺われる。
(3)有効性 評価 B ▼	A : 有効である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B : 一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C : 有効ではない		
		説明	複数回参加する子どもも何名か見られ、徐々にではあるが、創意工夫の意識を持つ青少年への啓発事業として浸透してきている。
(4)効率性 評価 A ▼	A : 優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B : 一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C : 改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている <input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない
		説明	学校の教諭などを登用することにより、講師の人件費を最小限に抑えることができた。
(5)公平性 評価 A ▼	A : 公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B : 一部公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C : 公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	教室の内容から適正な参加者の年齢や費用負担額を設定している。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	説明： 教室で取り上げる内容を広げていくことで、参加者のニーズに広く対応ができれば、さらなる参加者の増加も見込まれる。	手段	
		削減額	千円

11 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較
今後の進め方		
<input type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 小学生を対象とした事業であり、今後は教育現場での取り組みが適当と思われるので、教育委員会へ移管することとする。
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input checked="" type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

「総合学習」など教育委員会事業としての展開や廃止を検討すること
